

「検査による不良流出防止」から「工程内での不良発生未然防止」へ!

# 不良を発生させない工程整備&ポカミス・ヒューマンエラー防止策

～不良を発生させない「工程整備」と「うっかり・ヒューマンエラーの具体的防止策」を一気通貫で実施!不良を発生させない現場をつくる!～

**日時** 2020年3月17日(火) 10:00~17:00  
(9:30 受付開始、休憩 12:30~13:30)

**主催** 日刊工業新聞社

**会場** 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム  
東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

**受講料** 44,000円 (資料含む、消費税込)  
\*同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円  
※後日、別の方が追加で申込をされる際は、備考欄に先に申し込まれた方のお名前と複数割適用希望と記載ください。  
(記載が無い場合は通常料金のご請求となります。予めご了承ください)



## 日刊工業新聞社 東京本社 セミナールーム

東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

### 【アクセス】

東京メトロ日比谷線『人形町駅』A2出口 徒歩3分、都営浅草線『人形町駅』A6出口 徒歩3分

東京メトロ半蔵門線『水天宮前駅』8番出口 徒歩4分

### ●申込方法

申込書を郵送又はFAXにて下記にお申し込みください。ホームページからお申し込みできます。(http://corp.nikkan.co.jp/seminars/) 受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払いください。講座によりましては、申込者が最少催行人数に達していない場合、開催決定まで受講票ならびに請求書の発送を見合わせて頂く場合がございます。

なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。

口座名義	りそな銀行	東京営業部	当座	656007
(株)日刊工業新聞社	三井住友銀行	神田支店	当座	1023771
	みずほ銀行	九段支店	当座	21049
	三菱UFJ銀行	神保町支店	当座	9000445

### ●申込先 日刊工業新聞社 総合事務局 教育事業部 技術セミナー係

〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (住生日本橋小網町ビル)

TEL 03 (5644) 7222 FAX 03 (5644) 7215

e-mail : j-seminar@media.nikkan.co.jp

※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。  
※講義の録音・録画は固くお断りいたします。

## 受講申込書

### 3/17 ヒューマンエラー

お申し込みは **FAX 03-5644-7215**

●受講料: 44,000円 (資料含む、消費税込) ※同時複数人数お申し込みの場合2人目から39,600円

※振込手数料は貴社にてご負担ください。

会社名	フリガナ		業種
	フリガナ		
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL
所在地	〒		E-mail
			※今後、E-mailによるご案内を希望しない方は <input type="checkbox"/> チェックをしてください。
備考			

※お申込み受付後、受講票ならびに請求書をお送りいたします。

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

なお、宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【ご連絡先】日刊工業サービスセンター 情報事業部 nkmail01@nikkansc.co.jp

No.190570

# 開催主旨

多くの企業が「検査員教育・体制強化」による「品質不良の発見・流出防止」へ取り組んでいます。

しかし、「検査の強化」で不良を減らすことはできますが、不良発生そのものを無くすることはできません。品質は、あくまで加工・組立工程でつくられるものです。

不良を発生させてからの「チェック・手直し」は工程内に大きなムダを生みます。不良・手直しがゼロになれば、リードタイムは半減以下になり、なんと工場の生産性・利益は約2倍にも向上させることができるのです。

本講座では、不良を発生させない良品をつくる工程整備を実施するための方策、「品質をつくり込む」ノウハウに加え、多くの不良の発生原因となる「ポカミス・ヒューマンエラー防止策」も豊富な事例と共に解説し、併せて生産現場の品質や工程の安定化のヒントもご紹介します。

## 講師

株式会社SMC 代表取締役 **松田 龍太郎** 氏

**【略歴】** 1974年に現オムロンスイッチアンドデバイス(株)に入社。リミットスイッチなどの設計および開発に従事。特許や実用新案も考案しその数は150件に及ぶ。1984年に製造業務への異動後も、その手腕を発揮しTPSを中心とした普及活動を推進。2000年に退職し、(有)エス・ピー・エス経営研究所へ入社。その後、ドイツへ赴任し、現場改善コンサルタントとして65社、210工場で実績を積む。2006年独立し、(株)SMCを設立。引き続き、コンサルティング、セミナー講師とし活動中。元気で明るくユーモアを交えたユニークな指導に定評がある。

**【著作】** 「絵とき ポカミス撲滅大全」監修 日刊工業新聞社。「絵とき 簡便自動化」監修 日刊工業新聞社。「日本製造業超ものづくり経営」共著 日経BP社。「機械設計」連載 目からウロコだ！現場改善 日刊工業新聞社。現在「工場管理」日刊工業新聞社で「虫の眼・魚の眼・鳥の眼」連載中。「がんばれ上司」全89コラムのCDをHPで好評発売中。

## プログラム

### 1 製造品質は工程でつくり込め！

- 1) 製品品質が良ければ、コストが下がります
- 2) 良い製品品質は、検査ではなく工程でつくり込みます

### 2 製造品質問題に対する意識改革

- 1) お客様が満足する品質を実現するには？
- 2) 現場が一体となり、品質へのこだわりを追求する

### 3 品質のつくり込みは、良品条件の確保

- 1) なぜ、品質不良は減らないのか？
- 2) バラツキやカタヨリを減らすための着眼点
- 3) 良品条件の解明と維持管理の考え方とやり方

### 4 品質つくり込み能力を強化するには

- 1) 手法・ツールの準備、具体的事例紹介
- 2) 生産システムの構築
- 3) 現場の自律化
- 4) 現場に強い人づくりと事例紹介

### 5 ヒューマンエラーとは？

- 1) ヒューマンエラーの種類は3つ
- 2) ヒューマンエラーは、99%がたわいもないこと
- 3) ヒューマンエラーをなくすヒント
- 4) ユニバーサルデザインの大切さ

### 6 ヒューマンエラー防止の取り組み

- 1) 安全で働きやすい職場づくり
- 2) 作業環境の整備
- 3) 安全確保が、品質・生産性を向上させる
- 4) 事前の防止策
- 5) ヒューマンエラーの防止策
- 6) まずは、整理・清掃・整頓から取り組む
- 7) 目で見える管理で、異常を少なくする
- 8) ポカヨケと標準作業の関係

### 7 すぐできるヒューマンエラー防止策

- 1) 5S+表示標識
- 2) 動作の4原則
- 3) セット化・キット化
- 4) チェックリスト
- 5) 具体的な事例集を、わかりやすい写真とコメントで紹介